

くらし、雇用、経済……国民の願いにこたえて

鳩山政権の問題点ただし

積極提案で政治を前へ

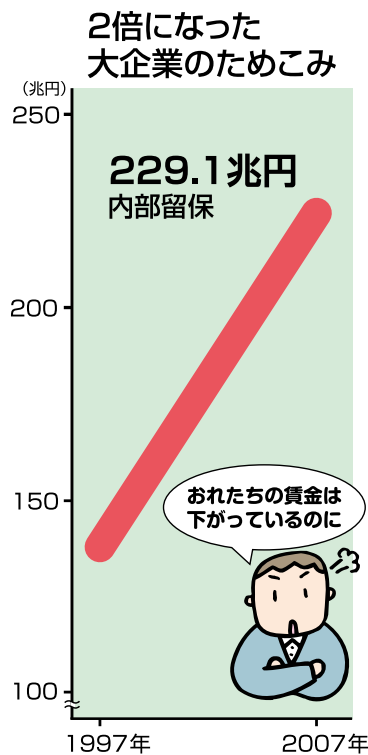
日本共産党

国民の願いにこたえ、政治を一步でも二歩でも前へすすめるために、日本共産党は積極的な政策提起をおこなっています。同時に、消費税増税の動きなどの問題点をただしていきます。

大企業のためこみ金を国民に還元させるべき

働く人々全体が受けとった収入は10年で17兆円減る一方で大企業のためこみ金(内部留保)は2倍以上に。

志位委員長は「国民がつくった富を大企業がひとり占めするシステムをあらためるべき」。国民のくらしに回るようにしてこそ「日本経済の健全な発展の道が開かれる」と首相に提案しました。



「あっ、そうなんだよね」と思う
日本共産党の考えについて、早野透氏(朝日新聞編集委員) 2月19日、朝日ニュースターで

町工場への直接の補助を

首相 機械のリース代を検討する

志位委員長が町工場の機械のリース代や家賃などへの直接の固定費補助を求めたことにたいし首相から機械のリース代については融資と同じように利子分だけですむように検討してみたいと前向きな回答がありました。

「運動をすすめていくうえで、大きな力だ」と業者の励ましになっています。

派遣野放しにする 厚労省が通達 専門業務「見直し」

労働者派遣法の改定に「抜け穴」をつくるな——25年前に決められ、派遣期間の制限がない「専門26業務」のなかには、いまだでは当たり前の「パソコン入力」も。これを悪用しNTTは直接雇用を派遣におきかえました。志位委員長は、専門26業務を「見直し、規制強化」と提起。厚労省は見直し通達を出しました。

ルールある経済社会を

日本経済再建の展望もつ党です

財界・大企業の横暴を野放しにせず、国民のくらしや権利を守るルールある経済社会を——このように日本共産党は展望しています。

政治の転換へ共感、期待が

経済団体との懇談では、「国会質問にたいへん励まされました」(全国商工団体連合会・国分稔会長)、「中小企業が経済の根幹になる世の中に

日本共産党

とんでもない! 消費税増税の論議

軍事費削り、大企業・大資産家優遇あらためてこそ

軍事費を減らし、大企業・大資産家優遇をただして、財源をつくる努力こそすすめるべきです。「消費税の論議を3月から始める」(菅財務相)など、とうてい納得できません。消費税は所得の少ない人に負担のしかかる最悪の不公平税制です。日本共産党は、消費税増税へのルールをしく動きに反対します。

ここにメスを

軍事費 5兆円
米軍再編費は481億円増額(2010年度予算案)



大企業・大資産家へのゆきすぎた減税

7兆円

赤旗 2010年3・4月号外 1952年5月30日第3種郵便物認可

発行●日本共産党中央委員会
〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7
TEL03(3403)6111(代表) FAX03(5474)8358
ホームページアドレスhttp://www.icp.or.jp

日本共産党に 新たな注目が

都市でも農村でも、日本共産党が頼りにされ、これまで他党支持だった方や無党派の方々から期待を大きく集めています。その源はなにか――。

「住民の立場で
ハッキリものが言える」

定数1で
議席獲得

滋賀県長浜市議増員選(旧湖北町)で
得票率6割をこえて圧勝。

「ハコものやめて
くらしと福祉に」

5人
全員当選

東京都日野市議選では全員当選。
史上最高の得票率・議席占有率に。

「地域のことに
いっしょうけんめい」

定数3で
議席獲得

千葉県匝瑳(そうさ)市議補選では、
第2位で当選、市議会第1党に。



懇談会であいさつする志位委員長(右)=2月18日、千葉市内

「政治を変えたい」の思いを力に

議会を動かす――日米自由貿易協定(FTA)反対

県議会定数40のうち日本共産党員議が1人の富山県議会。党員議が「日本農業をつぶすな」と単独提案した「日米FTAに反対する意見書」が採択――「政治を変えたい」という国民

の声、政治を動かす力として地方でも働いています。国民の声をうけとめる党だから、1人の議員の声でも、議会全体を動かすことができました。

3000人を超える地方議員と22000の党支部
国民に支えられたネットワークで

全国の市区町村の8割に、日本共産党の議員がいます。地方議員数も3000人以上。
草の根で活動している党議員団と党支部が協力し、アンケート、署名などにとりくみ、政治を動かす力になっています。

高すぎる国保料を値下げ
各区に市民組織をつくり署名運動、市議会も議会で要求し、国保料を3年連続で引き下げました(福岡市)。

政治資金も国民
に支えられて

小沢幹事長の胆沢ダム談合疑惑、北教組からの違法資金容疑……おおもとに企業・団体献金があります。
日本共産党は即時全面禁止を主張。「しんぶん赤旗」の事業収入、党費、個人献金など国民の浄財で党活動をまかなっています。だから「国民が主人公」の立場でがんばることができます。

後期高齢者医療 保険料値下げ
廃止先送り、4月からの保険料値上げに手を打たない――新政権の「二重の公約違反」を国会で追及。
地方でも廃止を求めると同時に、広域連合議会などで保険料引き下げを主張。数県ですえおき、引き下げを実現しています。



後期高齢者医療の保険料値下げを申し入れる党松山市議団

医療、農業、林業…
胸襟を開き一致点で共同する姿勢

健康と命のために共同を

診療報酬の増額と医療費窓口負担の軽減、そして後期高齢者医療制度の廃止へ、力をあわせていきたい――日本共産党と千葉県医師連盟が初の懇談会を開きました。

一致点での協力を大原則に

一致点で協力し、諸団体に参加している方々の思想・信条の自由は守られるべき――これを大原則にし、一致する要求で共同を広げています。JAや森林組合連合などの方々とも懇談を重ねています。

しんぶん 赤旗

日刊●2,900円 日曜版●800円

お申し込みはお近くの党事務所
または党員が下記の住所まで
日本共産党中央委員会
〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7
TEL.03-3403-6111 (代表)

購読申込書

お名前 () 電話 ()
おところ 〒
○をつけてください。 日刊●2,900円 日曜版●800円

日本共産党の活動はみなさんによって支えられています。募金にご協力ください。もよりの党事務所か、お知り合いの党員にご連絡いただくか、右記へお送りください。郵便振替●日本共産党中央委員会 00170-7-98422

